

## 気候情報

### 2016年1月の日本の天候

- 月平均気温は東・西日本と沖縄・奄美で高かった
- 西日本を中心に下旬に記録的な低温・大雪
- 沖縄・奄美では記録的に降水量が多かった
- 東日本日本海側、西日本、沖縄・奄美では日照時間がかなり少なかった

#### 1月の天気概況

月を通して日本付近は数日の周期で気圧の谷の影響を受けたが、月の前半は冬型の気圧配置が弱く、日本付近への寒気の流れ込みが弱かった。一方、月の後半は冬型の気圧配置が強まり、強い寒気が流れ込む時期があった。特に、23日から25日にかけては大陸からの強い寒気が流れ込み、九州や四国でも所々で大雪となり、沖縄・奄美でもみぞれを観測した。

**上旬：**日本付近は弱い冬型の気圧配置となったが、北日本では気圧の谷の影響を受けやすく、北日本日本海側では、旬間日照時間が1月上旬としては1961年の統計開始以来最も少なかった。一方、本州付近では低気圧の活動が弱かったため、東日本太平洋側では旬間日照時間がかなり多かった。沖縄・奄美では、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。また、北からの寒気の影響が小さく、気温は全国的に高くなった。

旬平均気温は、東・西日本、沖縄・奄美でかなり高く、北日本で高かった。

旬降水量は、北・東日本太平洋側と西日本日本海側ではかなり少なく、北・東日本日本海側で少なかった。一方、沖縄・奄美ではかなり多く、西日本太平洋側で平年並だった。

旬間日照時間は、北日本日本海側ではかなり少なく、北日本太平洋側で少なかった。一方、東日本太平洋側ではかなり多く、東日本日本海側、西日本、沖縄・奄美で平年並だった。

**中旬：**シベリア付近の高気圧は強かったが、日本付近への張り出しは弱く、本州の南岸や本州付近を低気圧が通過した。このため全国的に数日の周期で寒気が流れ込み、降水量は全国的に多かった。特に、18日から19日にかけては、低気圧が本州付近を発達しながら通過したため、太平洋側でも所々で大雪となり、東京では18日に6 cmの積雪を観測した。沖縄・奄美では旬降水量が平年比272%となり、1月中旬としては1961年の統計開始以来最も多い記録を更新した。

旬平均気温は、全国的に平年並だった。

旬降水量は、全国的に多く、北日本、東日本日本海側、沖縄・奄美ではかなり多かった。

旬間日照時間は、東日本日本海側と沖縄・奄美ではかなり少なく、北日本、西日本日本海側で少なかった。東・西日本太平洋側では平年並だった。

**下旬：**旬の中頃までは冬型の気圧配置が強くなり、特に24日から25日にかけては、強い寒気が流れ込んだ。このため、日本海側や西日本太平洋側の所々で大雪とな

り、24日は長崎（長崎県）で積雪の深さが17 cm となり、1906年の統計開始以来最も大きい記録を更新した。沖縄・奄美では名瀬（鹿児島県）で雪を、久米島（沖縄県）、名護（沖縄県）でみぞれをそれぞれ観測した。また、25日は人吉（熊本県）で日最低気温が-9.8°Cとなり、統計開始以来の日最低気温の低い記録を更新するなど、アメダスを含む74地点で、統計開始以来の日最低気温の低い記録を更新し、3地点でタイ記録となった。

旬平均気温は、全国的に平年並だった。

旬降水量は、西日本と沖縄・奄美ではかなり多く、東日本で多かった。一方、北日本日本海側では少なく、北日本太平洋側で平年並だった。

旬間日照時間は、西日本ではかなり少なく、沖縄・奄美で少なかった。北・東日本で平年並だった。

#### 1月の気候統計

**月平均気温：**東・西日本と沖縄・奄美で高かった。北日本では平年並だった。

**月降水量：**沖縄・奄美でかなり多く、北日本太平洋側、東・西日本で多かった。北日本日本海側では平年並だった。

**月間日照時間：**東日本太平洋側で多かった。東日本日本海側、西日本、沖縄・奄美ではかなり少なく、北日本で少なかった。

（気象庁観測部情報管理室）

#### 1月の記録（1位更新のみ）

##### ・月降水量多い方から（mm）

宮古島 479.5 石垣島 357.5 など5か所

##### ・月間日照時間少ない方から（h）

酒田 15.2 新潟 23.9, 人吉 56.4

#### 2016年1月の平年差（比）図

